

2021年1月27日

世界に向けて行動変容を促す検査を発信！ 内閣府アクセラレーションプログラム企業に選出されました

病気になる前の未病段階に特化した郵送検査の研究・開発・販売を行う名古屋大学発ベンチャーの株式会社ヘルスケアシステムズ（本社：愛知県名古屋市千種区、代表取締役：瀧本陽介（<https://hc-sys.com/>）は、内閣府、経済産業省、JETROによるアクセラレーションプログラム企業に選出されました。

今回の選出に先立ち、愛知・名古屋地区と浜松市が経済産業省中部経済産業局と連携し、グローバルな活躍を目指すスタートアップ企業を支援するプログラム「J-Startup CENTRAL」の対象企業に選出されており、特に海外展開に向けたビジョン等が優れた企業として、本プログラムに参加します。

当社は、2月1日より、2カ所目となる海外拠点としてロサンゼルスに北米事業準備室を開設いたします。この度の内閣府アクセラレーションプログラムの参加を期に、郵送検査サービスの北米における事業展開と、アメリカ・カナダのスタートアップ企業との連携を加速させ、さらなる事業拡大と、当社の企業理念である「世界をもっと楽しく健康に」の実現を目指して邁進してまいります。

■行動変容を促すヘルスケア検査とは

WHO（世界保健機関）が定義する非感染性疾患（生活習慣の改善により予防可能な疾患）は、世界の死因トップ10のうち7つを占めていると発表されました。このような疾患を持つ人が新型コロナウイルス感染症（COVID-19）においてもリスクが高いことから、より健康的な習慣へと行動変容を促す方法の重要性が叫ばれています。

当社は、簡単かつ自宅に居ながらにして、イソフラボンの効果、腸内環境、食塩摂取量、たんぱく質といった食生活のバランスをチェックすることが出来る郵送検査事業を展開しており、国内ではすでに利用者は40万人におよんでいます。2018年からは、急速な経済成長に伴う生活習慣の変化が著しい中国でも事業を進めています。

痛みや手間を伴わない検査で、自らの習慣を「見える化（数値化）」し、自身の状態に「気づき」、予防や対策・習慣を見直す「きっかけ」づくりと改善の為の行動変容を促すことで、社会全体の健康への取り組みに寄与できればと考えております。

■内閣府アクセラレーションプログラムの概要

内閣府、経済産業省、JETROが国内スタートアップ・エコシステムの発展推進を目的とした支援プログラムで、グローバル拠点都市から50社が選定され実施される。アクセラレーターと呼ばれる各分野のプロフェッショナルな支援者との定期的な面談を通して、ビジネスをする上で必要なマインドセットやマーケティング戦略、海外展開戦略等を学び、短期間での事業化・事業成長を効果的にサポートを受ける。<https://www.jetro.go.jp/news/releases/2021/471bb96b0c3eb4c4.html>

株式会社ヘルスケアシステムズ（2009年3月設立） <http://hc-sys.jp>

【業務】郵送検査事業、バイオマーカーの研究開発、機能性食品の臨床試験・受託研究、健康経営支援

【事業所】本社：〒464-0858 愛知県名古屋市千種区千種2-22-8 名古屋医工連携インキュベーター

東京：〒105-0004 東京都港区新橋4-6-15 日新建物新橋ビル7F

福岡ラボ：久留米リサーチパーク（2021年1月開設）

ロサンゼルス：北米事業準備室（2021年2月開設）

■グループ企業：株式会社ダンテ（広島大学発ベンチャー）／株式会社アデノプリVENT（静岡県立大学発ベンチャー）／上海乐检生物科技有限公司

本リリースの問合せ：株式会社ヘルスケアシステムズ 高実子（たかじつこ）

03-6809-2722 pr@hc-sys.jp